経済学部生の皆さんへ

2028(令和 10)年度 経済学部奨学金派遣留学生募集要項（予告）

２０２６年１１月１３日

経済学部 語学研修・留学サポート委員会

経済学部では、本学部に正規に在学する学生を対象に、下記の通り学部奨学金派遣留学生を募集する予定です。正式な募集は、３月中旬に改めて通知する予定です。

●概要

【募集人員】　経済学部生３名以内

【支給金額】

・生活費等の経費の留学月数分、および往復航空運賃（合計 100 万円を限度として実費支給）

・加算支給額（留学先へ授業料を支払う場合、本学の当該年度における授業料相当額を限度として、奨学金を加算支給）

・留学中の本学における学費は、各自負担

【留学先】

(1)と(2)のリストにある大学に加え、(3)を留学先として選ぶことができます。

(1)協定校　　https://www.daito.ac.jp/international_exchange/agreement.html

(2)語学研修　https://www.daito.ac.jp/international_exchange/studyabroad/language.html

*(2)は頻繁に更新されています。

(3)自分で入学許可を取り、本学の学部教授会において留学先として承認された大学

【留学期間】　原則６ヵ月以上１年以内

【応募手続き期間】

２０２７年４月中旬から６月上旬　※詳細は３月中旬に

・応募状況により、再募集があります。DB ポータルのお知らせや掲示を確認してください。

・単位の取得状況、外国語検定試験の成績、および応募者数によっては、書類選考で不合格となる場合があります。

【提出書類】

(1)経済学部奨学金派遣留学生応募申請書

(2)前年度までの成績証明書１通（１年生は不要）

(3)留学先に提出する外国語検定試験等に関するテストスコア

*TOEFL iBT®・・会場受験型または自宅受験型、もしくはその両方

IELTS・・ペーパー版またはコンピュータ版、もしくはその両方

中国語検定試／HSK 汉语水平考试／TOCFL 華語文能力測験

*応募書類の締め切りまでにテストスコアの提出が間に合わない場合は、早めに連絡してください。

【提出先】

東松山校舎の教務事務室、または板橋校舎の経済学部事務室

【問い合わせ／連絡先】

econ@ic.daito.ac.jp　タイトルに「経済学部奨学金派遣留学生応募の件（学籍番号＋氏名）」

●応募前に

【留学準備・テスト対策・就職など】

・　応募締め切りに間に合うよう、早めに受験するようにしてください。

・　受験やテスト勉強の仕方、目標点数や留学先などを、外国語担当教員、及び経済学部事務室と国際交流センターへ積極的に質問してください。

・　国際交流センター（東松山校舎、板橋校舎）に、過去に留学した先輩の留学報告書がありますので、閲覧してください。

・　留学中、帰国後の就職活動については、キャリアサポートセンターに問い合わせてください。

●面接

【選考面接日時と場所】　都合のよい方を選択

・東松山校舎　２０２７年６月下旬　昼休み（予定）

・板橋校舎　　同年　　６月下旬　昼休み（予定）

【選考方法】　応募書類、および留学希望国言語と日本語による面接

【結果通知】　同年７月下旬、DB ポータル等により通知する

●参考－留学先に提出する外国語検定試験等に関するテストスコア

【英語圏】

(1) TOEFL®

米国留学希望者は、受験してください。カナダやオセアニアへの留学希望者も、TOEFL®のスコアを受け付けている大学がありますので、確認してください。

TOEFL®には何種類かありますが、奨学金留学の希望大学先には TOEFL iBT®のスコアを提出する必要があります。

テスト日程・会場

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/centers_dates.html

また、TOEFL iBT®には、「会場実施型」と「自宅受験型 TOEFL iBT®『TOEFL iBT® Home Edition』」があります。「自宅受験型 TOEFL iBT®」のスコアを提出できる海外の大学のリストは、以下のとおりです。

Who Accepts TOEFL iBT Home Edition Scores?

https://www.ets.org/toefl/test-takers/ibt/scores/understand-scores/home-edition-acceptance.html

まずは、希望先の大学（前述のセクション３）が、どちらのタイプのテストスコアを受け入れているかを確認してください。上のリスト以外にも自宅受験型のスコアを受け付けている大学がありますので、自分で確認してください。

** 注意事項

両タイプのテストにおいて、不正行為をした場合は、厳しいペナルティが課されますので、くれぐれも注意してください。特に「自宅受験型 TOEFL iBT®」は、試験会場にいく手間は省けるものの、試験の際の厳しい設定条件(カメラの位置など)があり、試験直前に係官がチェックします。自宅で受験できる手軽さと引き換えに、慎重な作業が増える点に注意してください。

(2) IELTS

英国の留学希望者は、IELTS を受験してください。米国の多くの大学でも、IELTS のスコア利用が可能です。カナダやオセアニアでも、大学によっては IELTS を受け付けています。

テスト会場と日程

https://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/

留学希望者が受験する IELTS のタイプは、IELTS Academic（アイエルツ アカデミック・モジュール）です。特に、英国ビザ取得の際は、IELTS for UKVI における IELTS Academic のスコアの提出が求められる場合があります。

IELTS Academic

https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts/which-test/academic

https://www.eiken.or.jp/ielts/ukvi/

IELTS にもオンラインテスト（コンピューター版）がありますが、現時点ではオンライン受験のスコアを受け付ける大学がほとんどありません。練習のため、オンライン版を受験するには問題ありませんが、基本的には試験会場での受験を推奨します。

IELTS Academic module の受験にあたっては、前述の「**注意事項」を参照してください。

上のセクション３の(3) の場合、留学希望先の大学ホームページで、どのようなテストを受け付けているかを確認しましょう。確認方法の一例ですが、“英語の大学名 Undergraduate Language Requirement” と検索してみましょう。留学したい国・地域、大学が確定していないようであれば、汎用性のある TOEFL iBT®、または IELTS を受験しておくと、留学先の選択肢が広がります。

(3) TOEFL ITP®テスト

本学では、以下の TOEFL ITP®テストを年に数回実施しています。

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/japanesestudent/test/toefl.html

面接、および希望大学に TOEFL iBT®のスコアを提出するまで、テスト対策として TOEFL ITP®テストを積極的に受験してください。

ただし、学部奨学金派遣留学の場合、多くの大学が TOEFL ITP®テストのスコアを受け付けていません（国際交流センターが募集する協定校留学[交換留学]は別です）。

TOEFL iBT®には、4 技能のテストが含まれますが、この TOEFL ITP®テストには、Speaking と Writing が含まれず、Listening と Reading の点数のみ示されます。受験料は 4000 円程度。TOEFL iBT®テストの約 10 分の 1 です（為替レートにより変動）。

【中国語圏】

留学先言語の語学力に関する資格証明、あるいは外国語検定試験の成績表（下記のいずれか１点以上）を提出してください。

(1) 中国語検定試験

日本中国語検定協会が主催する中国語能力検定試験。英検の中国語版のようなもの。級ごとに出題し、合格点に達すればその級が認定される。３、６、１１月各下旬年３回実施。http://www.chuken.gr.jp/

(2) HSK 汉语水平考试

中国が問題を作成し、世界中で実施されている共通基準の試験で、HSK の成績は、中

国国内だけでなく、世界中で公的証明として活用することができる。初級レベルの１級から上級レベルの６級まで、６段階に内容が設定されている。経済系（学部）のような、中国の大学の本科に留学するには、６級が必須。

関東圏では、ほぼ毎月試験有り。http://www.hskj.jp/

(3)TOCFL 華語文能力測験

台湾の國家華語測驗推動工作委員會(国家中国語能力試験推進委員会:Steering Committee for the Test Of Proficiency-Huayu, 以下 SC-TOP と略す)が開発を行い、全世界への普及を推進している、台湾華語(中国語)を母語としない人向けの能力試験です。Band A（入門～基礎）～Band C（流利～精通）の３段階ごとに出題。オンライン受験あり（東京会場はほぼ毎月実施）。https://tocfl.jp/

【その他の言語圏】

留学先言語の語学力に関する資格証明、あるいは外国語検定試験の成績表を提出してください。

●外国語検定試験の受験料助成制度

複数の外国語検定試験が対象です。

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/examsupport.htm

●留学中及び帰国後

【留学中と帰国後】

留学期間中には中間報告書と帰国届、帰国後には各種報告書を、国際交流センターを通じて提出する必要があります。

【単位認定】

留学中に取得した単位は、「単位振替認定申請書」の提出により、経済学部語学研修・留学サポート委員会、および経済学部教授会の議を経て、認定基準に合致すれば、各年次の履修登録上限単位数を限度に、本学の単位として認定されます（成績表には N［認定の意］ と表示）。

●その他

国際的な疾病の流行や紛争などの状況によっては、留学年度の派遣留学が延期・中止になる可能性があります。

経済学部奨学金派遣留学生として合格したにもかかわらず、病気やケガなどで留学ができなくなった場合「留学辞退届」の提出をお願いしています。

以上